

## 非行少年を生まない社会づくり

警察では、「非行少年を生まない社会づくり」を推進しています。

### 最近の少年非行の背景

- 少年自身の規範意識の低下やコミュニケーション能力の不足
- 家庭や地域社会の教育機能の低下
- 少年が自分の居場所を見いだせず、孤立化し、あるいは疎外感を抱いている状況

このような問題を解決するために、警察では次の2本柱を推進しています。

#### 1 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動の推進 ～待ち受け型から出前型に～

- 少年や、その家庭からのSOSを待つのではなく、警察から積極的に連絡をします。
- 保護者からの同意が得られた場合には、電話や家庭訪問などの方法で立ち直り支援活動を行います。

#### 2 少年を見守る社会気運の醸成 ～少年の規範意識の向上、地域社会の絆の強化～

- 社会全体で厳しくも温かい目で少年を見守る気運を醸成します。
- 少年が地域に受け入れられ、見守られていると実感できるような取り組みを行います。

##### ※ 活動の概要

- ・ 地域の非行情勢や非行要因などについての幅広い情報発信活動
- ・ 少年警察ボランティアなどを中心とした積極的な少年への声かけやあいさつ運動
- ・ 少年の社会奉仕体験活動、スポーツ活動などの場、機会の拡大
- ・ 少年などからの電子メールによる相談受理体制の拡充
- ・ 低年齢少年やその保護者を対象とした非行防止教室の開催